

ディア・ドクター

Dear Doctor をみて

「求められる家庭医・総合医」

明日の臨床研修教育を考える

試写会 & 合同シンポジウム

入場無料

現在、臨床研修教育制度のあり方をめぐって議論が行われています。こうしたなか、平成20年度厚生労働省の研究班で、「頼れる医師を育てる研修制度を、医療に関わるすべての人が力を合わせてつくみましょう」という提言をいたしました。このたび、市民と医学生、研修医、医師がともにつくる新しい医療のかたちを提案すべく、来たるディア・ドクター www.deardoctor.jp (6月27日より全国ロードショー)の試写会およびシンポジウムを開催することになりました。一緒にこれからの医療を語り合いませんか。

総合司会 土屋 了介 (国立がんセンター中央病院 院長)
平成20年度医療における安心・希望確保のための専門医・家庭医
(医師後期臨床研修制度)のあり方に関する研究班 班長

シンポジスト (50音順。当日変更、追加がある可能性があります)

秋山美紀氏	慶應義塾大学 総合政策学部
加藤 章氏	成宗診療所(杉並区) 院長
小宮山学氏	亀田ファミリークリニック館山
竹内麻里子氏	医師のキャリアパスを考える医学生の会
浜名哲郎氏	富士見診療所(鎌倉市) 院長
松岡 慶氏	市立伊東市民病院 臨床研修医
村林 彰氏	村林クリニック(目黒区) 院長
吉野雄大氏	慶應義塾大学医学部学生

西川美和氏(監督・原作・脚本)
太田祥一氏(医学監修、東京医科大学)
参加予定

日時: 2009年6月20日(土) 10時~15時
(9時30分開場)

会場: 慶應義塾大学信濃町キャンパス 北里講堂
東京都新宿区信濃町35番地

『蛇イチゴ』『ゆるる』の西川美和監督が、へき地医療や高齢化など現代の世相に鋭く切り込む人間ドラマ。本作で映画初主演を務める笑福亭鶴瓶が無医村に赴任した医師を演じ、その医師の失踪(しっそう)をきっかけに浮かび上がる彼の人物像を軸にした心理劇が展開される。(映画資料より)

参加申し込み先:

ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記し、FAXまたはEメールで6月18日までにお申し込みください。

「求められる家庭医・総合医」
明日の臨床研修教育を考えるシンポジウム事務局
あて

FAX: 03-3547-8577

E-mail: medtraining2009@gmail.com

なお、定員になり次第締切にさせていただきます。



主催: 財団法人 がん集学的治療研究財団

共催: 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究(片井班)